

県民健康意識行動調査報告書



平成 29 年 3 月

大 分 県

はじめに

大分県では、県民が生涯にわたり健康で活力あふれる暮らしを送れるよう平成27年度に策定した長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」において、「健康寿命日本一の実現」を掲げ、官・民・学の協働により県民総ぐるみで健康づくりができる環境整備に取り組んでいるところです。

大分県の平均寿命（平成22年）は、男性80.06歳、女性86.91歳、健康寿命（平成25年）は、男性71.56歳、女性75.01歳であり、平均寿命と健康寿命の差は、男性で8.50歳、女性は11.90歳と何らかの医療介護サービスを要する期間が比較的長いことが課題となっています。

県内市町村の健康課題の把握は、これまで出生・死亡等の人口動態統計や国民健康保険被保険者の特定健康診査結果、医療費等を中心とした分析により把握してきましたが、健康寿命に影響を及ぼすとされる食生活や飲酒、喫煙などの生活習慣や社会参加等の地域間の比較は、調査規模の問題から把握できていませんでした。

そこで、今般、県民約2万人を対象とした「県民健康意識行動調査」を行い、市町村相互を比較分析することにより市町村毎の健康に関する地域特性や課題を取りまとめました。

本調査結果は、大分県健康増進計画「第2次生涯健康県おおいた21」の評価・改定や「大分県歯科口腔保健計画一新・歯ッスル大分8020—改定版」の中間評価に関する基礎資料として活用されます。

また、今後、本県では健康寿命の延伸に向けて、市町村毎の健康課題に応じた効果的な対策を講じ、健康課題の地域差の縮小を図ることとしており、本報告書により、地域の健康課題を市町村や関係団体等においても共有し、課題解決に向けた対策の推進に活用していただければ幸いです。

終わりに、本調査の実施にあたり、御協力いただいた県民の皆さまをはじめ市町村並びに、調査分析にあたり熱心に検討いただきました関係者各位に心より感謝申し上げます。

平成29年3月 大分県福祉保健部福祉保健企画課

県民健康意識行動調査

本調査は、生活習慣実態調査及び栄養摂取状況調査の2つの調査で構成している。

<目次>

I	生活習慣実態調査	1
1	調査の目的	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	調査回収結果	2
5	報告書の見方	2
6	集計結果	3
	(1) 回答者属性	3
	(2) 運動について	27
	(3) 食生活について	38
	(4) がん検診について	53
	(5) こころの健康について	65
	(6) たばこについて	84
	(7) 歯について	93
	(8) ロコモティブシンドローム（運動器症候群）等について	101
	(9) 県内在住19歳以下の子どもについて	103
II	栄養摂取状況調査（生活習慣実態調査）	104
1	調査の目的	104
2	調査内容	104
3	調査設計	104
4	調査回収結果	106
5	報告書の見方（利用上の注意点）	106
6	集計結果	107
	(1) 身長・体重及びBMI（性・年齢階級別集計）	107
	(2) 栄養・食生活に関する状況	108
	(3) 食習慣と生活習慣のクロス集計結果	120
	(4) 各疾病と食品・栄養素等の関連について	126
III	市町村別の地域特性	144
IV	参 考	180
1	調査票	180
2	市町村別回収状況	193

目指せ！
健康寿命日本一



おおいた

